

田村で見つけた 私らしい 生き方。

人 口減少や少子高齢化が課題となっており、市中では、地域の魅力の磨き上げや新たな産業・暮らしを創出するため、新たな住民を呼び込もうと、さまざまな移住・定住事業を展開しています。

今回は、6年4月に家族で埼玉県から都路町へ移住した新井田力さん、美菜子さん夫妻に、移住したきっかけや現在の暮らしについて、お話を伺いました。

問 総務部企画調整課 ☎61-7615



ヤギと一緒に暮らしています

新井田さんファミリー

夫:力さん(木工作家)
妻:美菜子さん(市起業型地域おこし協力隊)
12歳、9歳、6歳のお子さんと5人暮らし

あぶくま洞ラベンダー園 開園情報

約2万株以上のラベンダーの中で、のんびり深呼吸してみませんか。あぶくま洞の園地内に広がるラベンダー園には遊歩道が整備され、自由に散策が楽しめます。摘み取り体験やラベンダークラフト体験教室も開催予定(有料)です。期間限定でラベンダーソフトクリームを販売します。



- 期間 6月14日(土)～7月6日(日)
- 料金 入園無料
- 摘み取り体験
午前10時～午後3時30分(最終受付午後3時、雨天時等中止)1カップ500円
- ラベンダークラフト教室(雨天時等中止)
6月14日(土)、15日(日)、21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)開催予定、各日午前10時～午後3時、製作費別途
- 場所 あぶくま洞
- 問 あぶくま洞管理事務所 ☎78-2125

たむら市民大学たまり 7年度前期講座スタート

昨年4月に開校した「たまり」、9月まで続く7年度前期は14講座を開講し、のべ197名の学生が学びを始めています。それぞれの講座の1回目では、初めての参加に緊張と期待が入り交じる様子の学生もいれば、たまりを通して顔見知りになった学生たちの再会を喜び姿もみられました。たまりは学びの場だけでなく、市民同士がつながる場にもなっています。



開講式・学生証明書授与



ゼロから始めるスマホ教室

異文化コミュニケーション

たむら市民大学教員募集

たむら市民大学たまり、7年度後期講座(10月～8年3月)の教員を募集します。教員の免許や資格は必要ありません。芸術、語学、園芸、趣味やスポーツなど、ジャンルも問いません。今まで教えた経験がない方でも不安なく教員となれるよう、教員向け講習会を行うなど、事務局が全力サポートします。

●募集締め切り 6月25日(水)

●申し込み方法

生涯学習課、各公民館および各行政局に設置、または市ホームページに掲載の教員募集要項をご覧ください。

問 教育部生涯学習課 ☎81-1215



移住に関する情報を「たむら暮らし」のWebサイトやSNSで発信中!



で、自分で考えるようになって、自分でも考えているようになったと思います。

Q 移住した感想をお聞かせください。

A 人や自然との距離がちょうどいいです。四季がはっきりしていて、過ごしやすいです。

Q 今後、どんなことにチャレンジしたいですか?

A 美菜子さん・空き家を活用しているいろいろな人が集えるシェアハウスを作ることです。

Q 最後に、移住される方にメッセージをお願いします。

A チャレンジハウスの利用や移住ツアーに参加するなど、自分の目で田村市を見てほしいです。そして、人の温かみを感じてほしいです。何回か足を運んで、一度では分からない部分を経験してほしいと思います。

移住の状況

移住事業は、3年度から本格的なスタートを切りました。6年3月末時点の累計で、72世帯139人が本事業を活用して移住しました。移住相談は、3年度が86人、4年度が183人、5年度が185人、6年度が199人と年々増加傾向にあります。移住元は、首都圏を中心とし、東京都が最も多くなっています。

